

資 料

資料目次

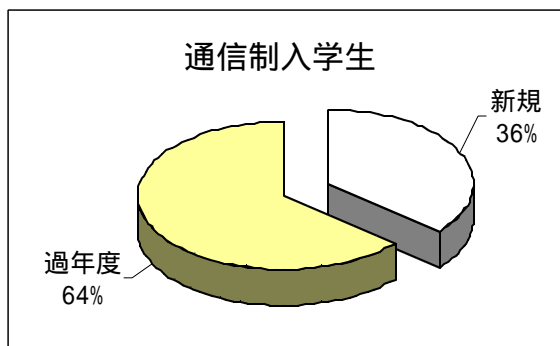
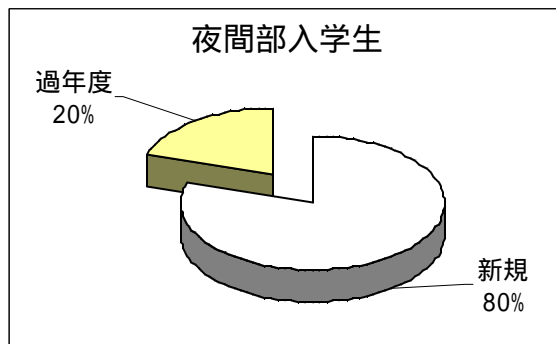
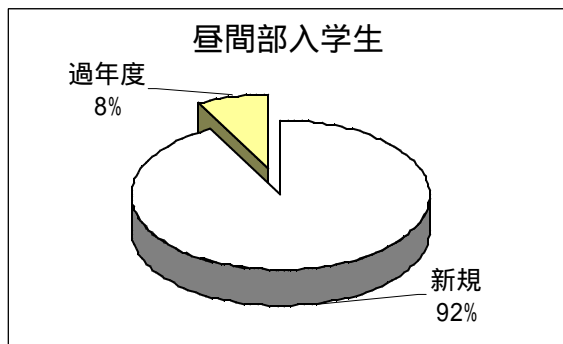
資料 1	徳島県における定時制・通信制高校	1
資料 2	徳島中央高校における過年度入学生割合	1
資料 3	徳島中央高校通信制課程生徒の年齢構成	2
資料 4	徳島中央高校卒業生の進路	3
資料 5	徳島中央高校夜間部生徒の就業状況	4
資料 6	徳島中央高校生徒アンケート結果	5
資料 7	新しい定通独立校のあり方[意見概要]	14
資料 8	定時制教育課程表(例)	16
資料 9	計画的な取り組み	17
資料 10	夜間定時制高校の郡市別通学状況	19
	昼夜間定通独立校整備検討委員会設置要綱等	20
	用語解説	23

(資料1) 徳島県における定時制・通信制高校

課 程 ・ 部		学 校 名	設置形態	設置学科
定時制	夜間部	徳島中央高校	独立校	普通科・工業科
		富岡東高校	併設校	普通科
		鳴門高校	併設校	普通科
		名西高校	併設校	普通科
		池田高校	併設校	普通科
	昼間部	徳島中央高校	独立校	普通科
通信制		徳島中央高校	独立校	普通科・衛生看護科

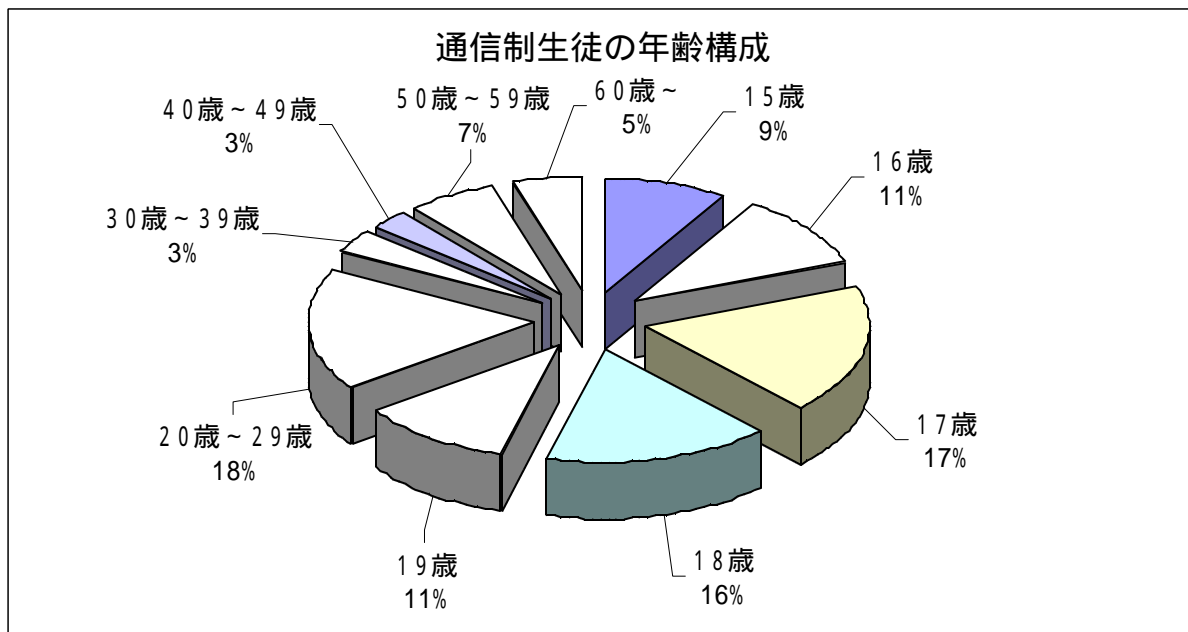
(資料2) 徳島中央高校における過年度入学生割合

(平成16年度)



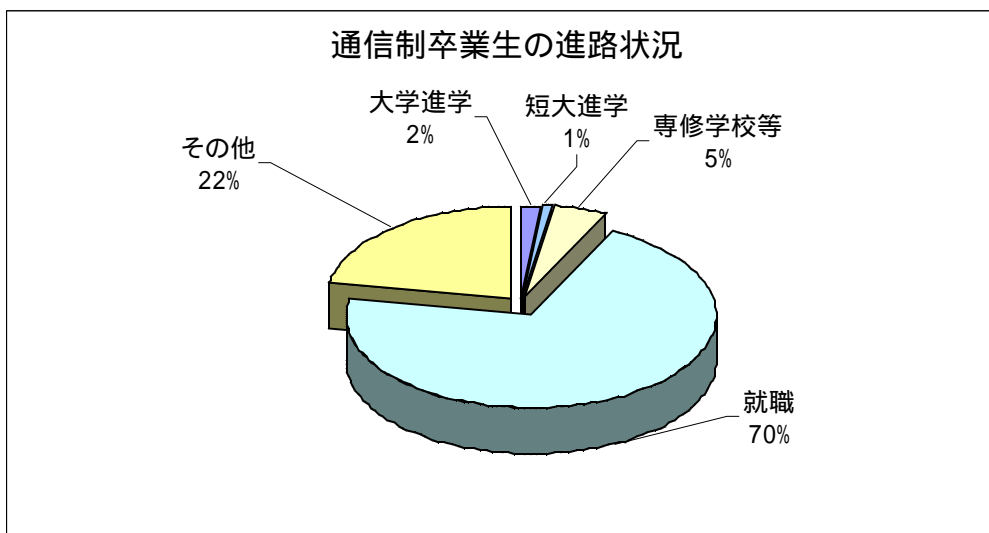
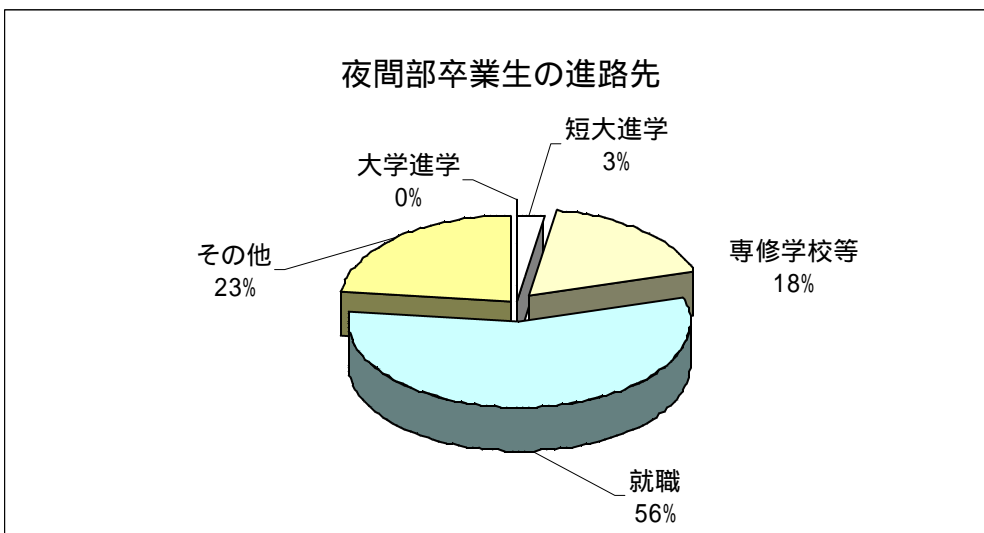
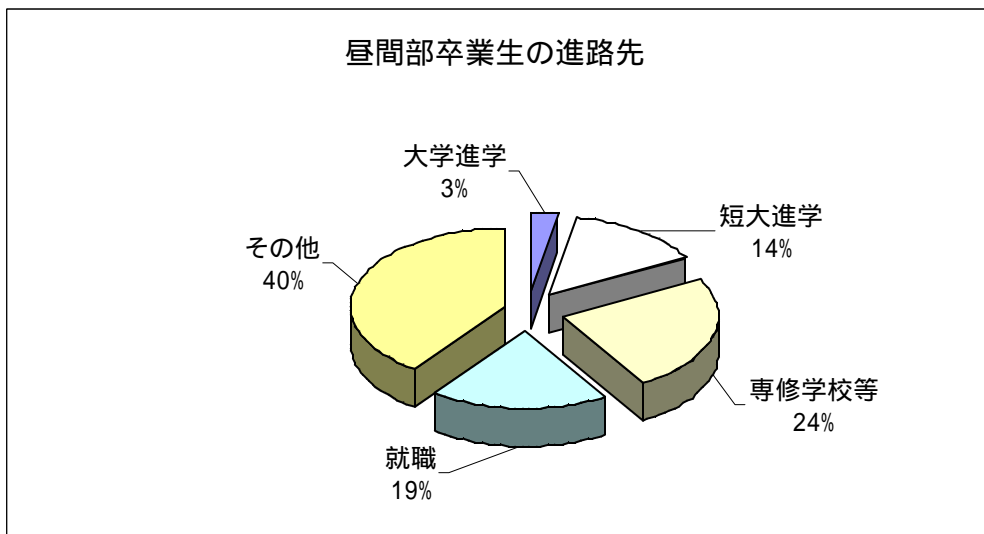
(資料3) 徳島中央高校通信制課程生徒の年齢構成

(平成16年度)



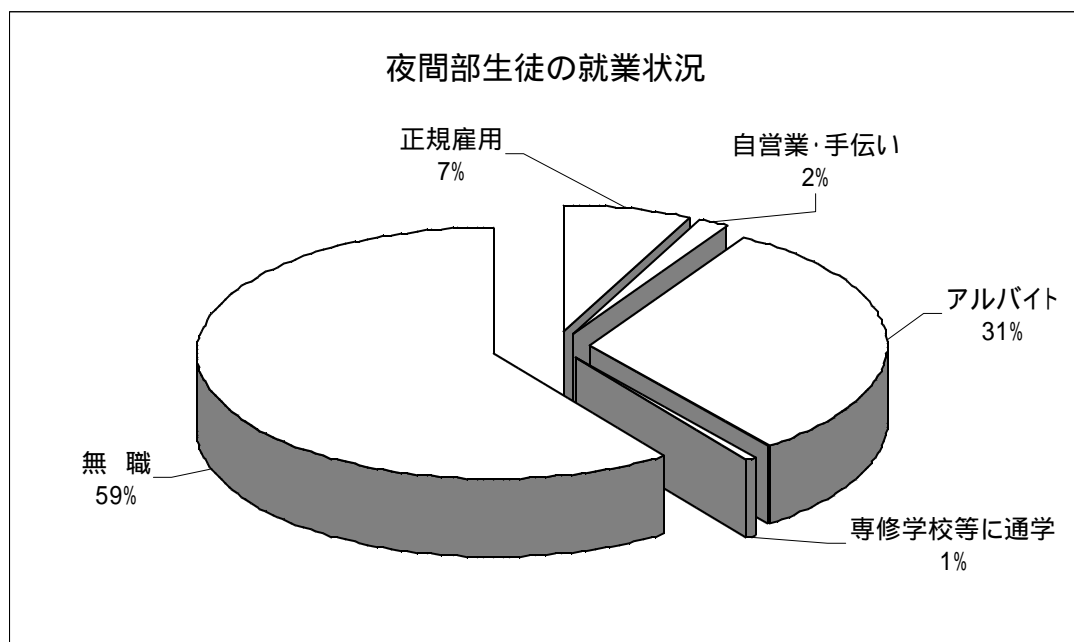
(資料4) 徳島中央高校卒業生の進路

(平成16年3月卒業後の進路状況)



(資料5) 徳島中央高校夜間部生徒の就業状況

(平成16年5月1日現在)

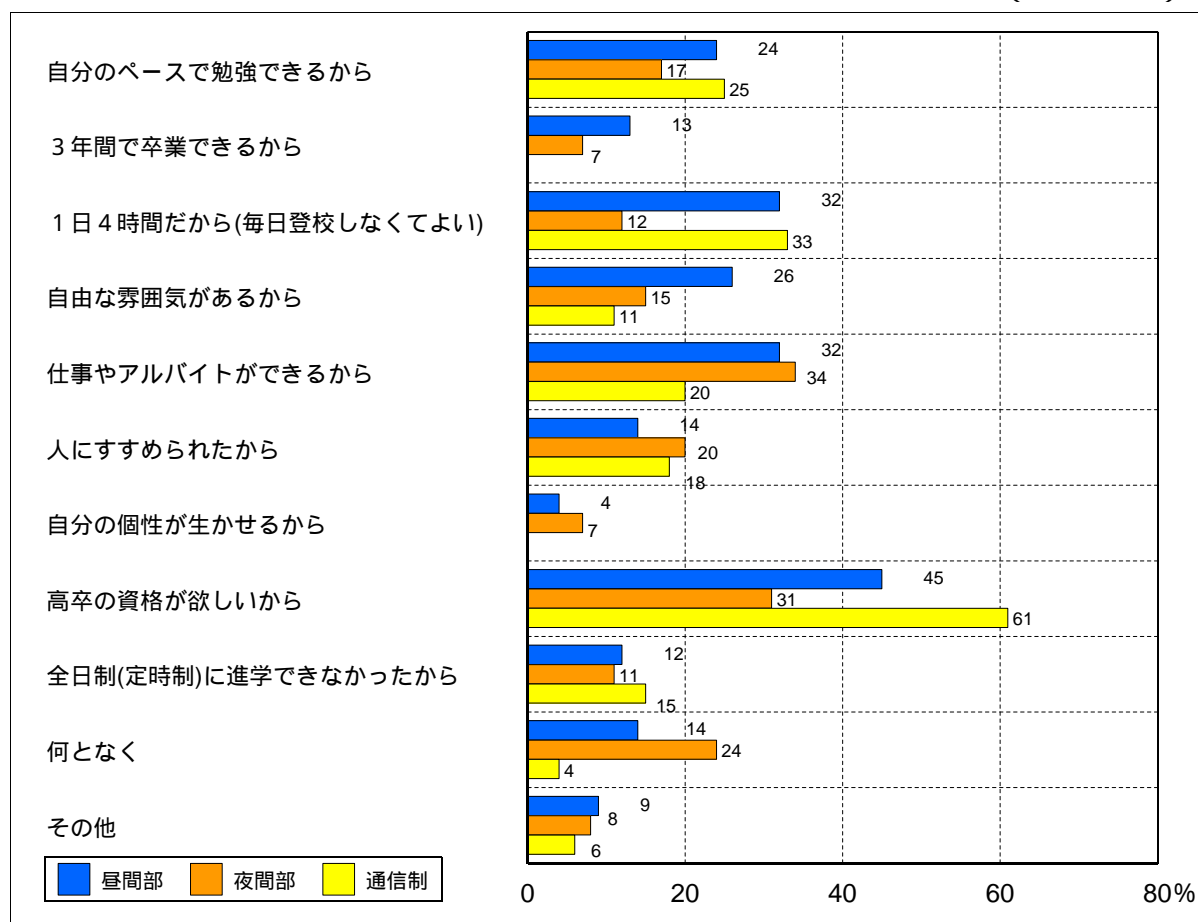


(資料6) 徳島中央高校生徒アンケート結果

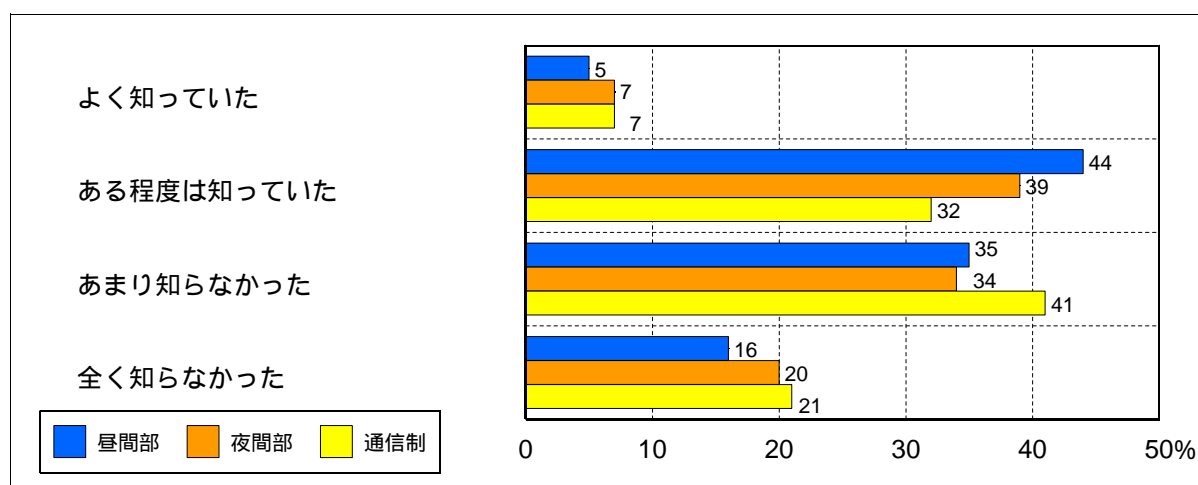
(平成15年8月実施)

Q1 あなたが、徳島中央高校への入学を決めたのはなぜですか。

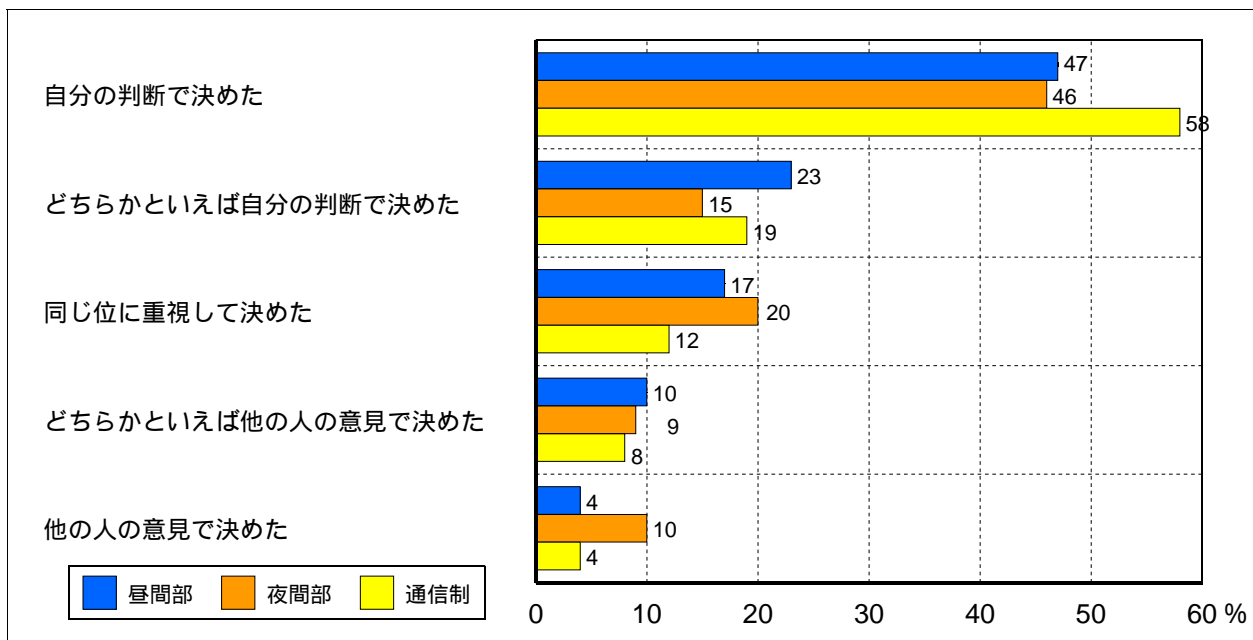
(複数回答)



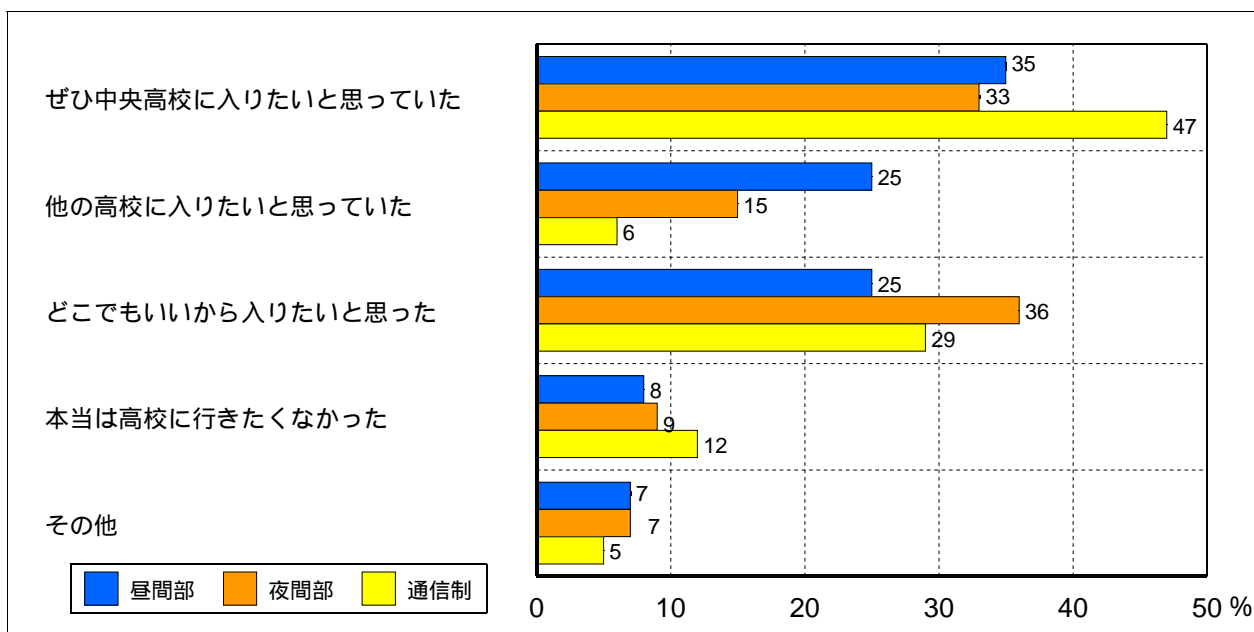
Q2 あなたは入学前に、徳島中央高校のことについて、どのくらい知っていましたか。



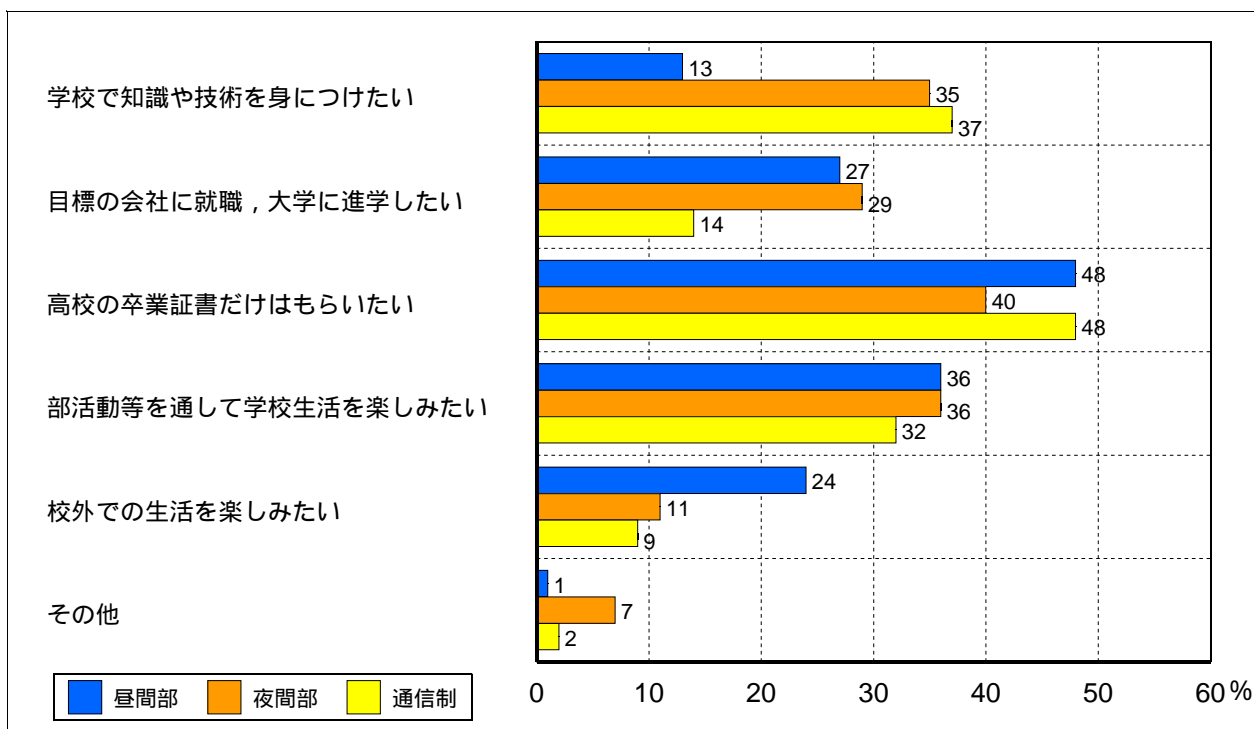
Q3 徳島中央高校への入学は、あなたの判断で決めましたか。それとも他の人の意見で決めましたか。



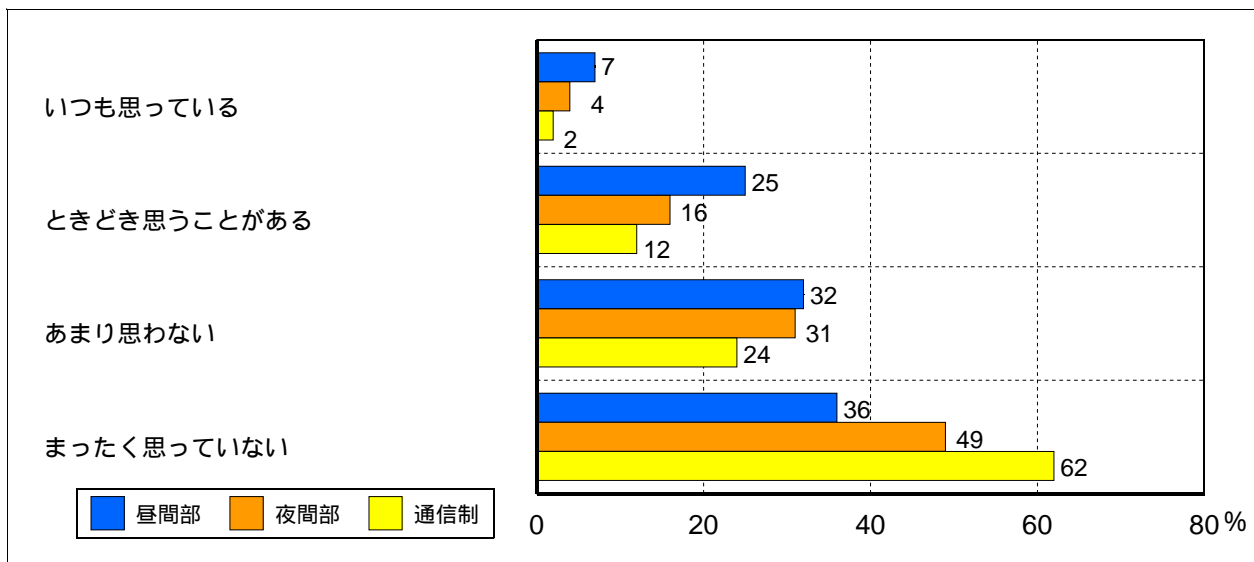
Q4 あなたは徳島中央高校に入学しようと思ったとき、どのように思っていましたか。



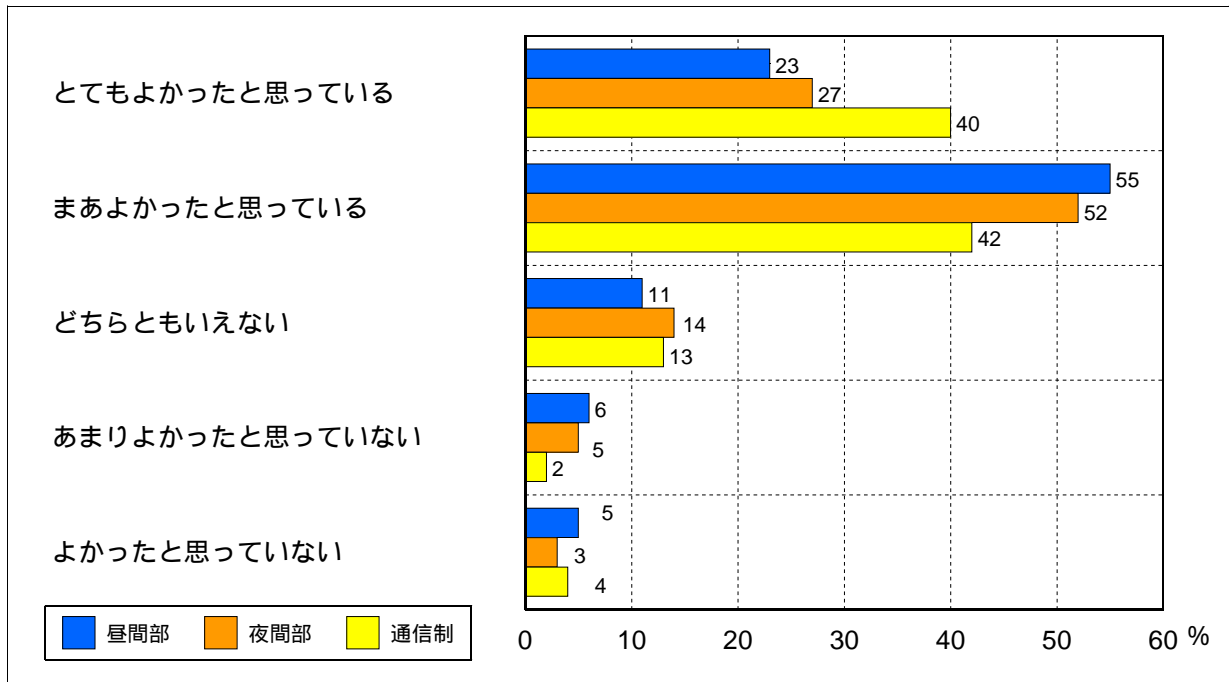
Q5 あなたは高校生活をどのように過ごしていますか。(複数回答)



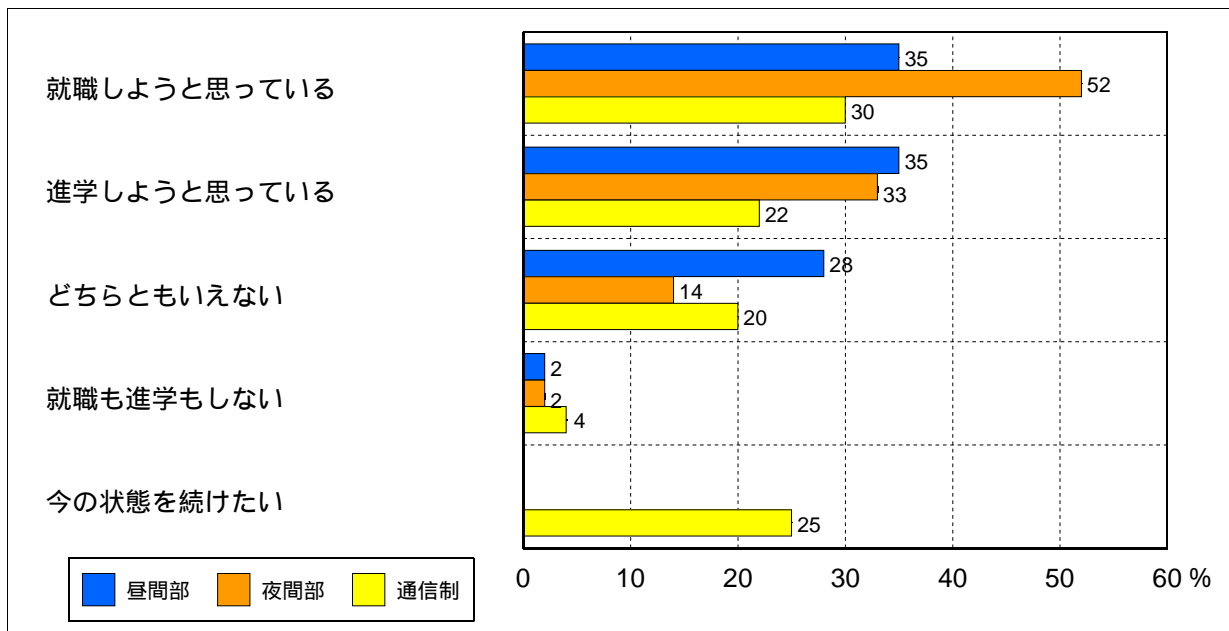
Q6 あなたは退学したいとか別の高校に変わりたいと思ったことがありますか。



Q 7 あなたは徳島中央高校に入学してよかったと思っていますか。

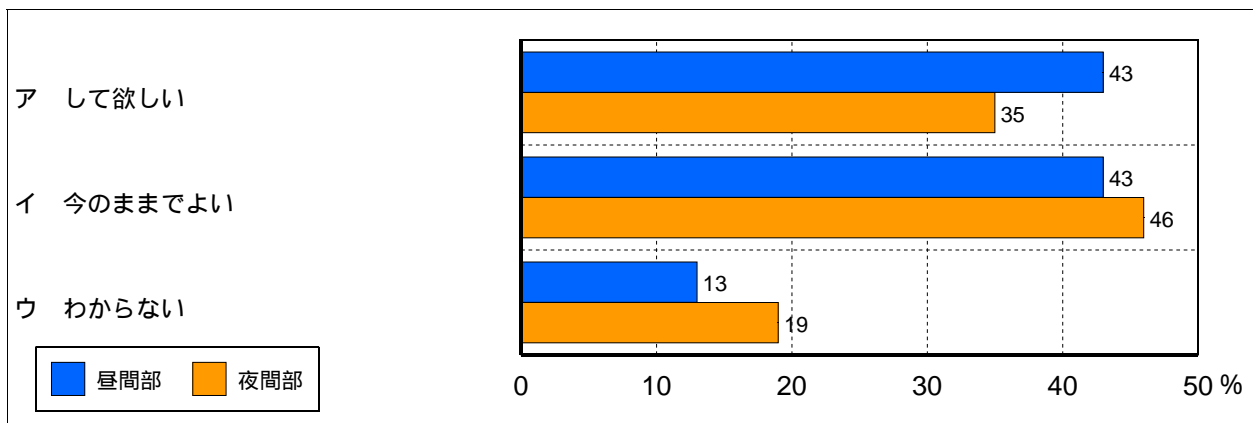


Q 8 あなたは高校卒業後、就職それとも進学しようと思っていますか。

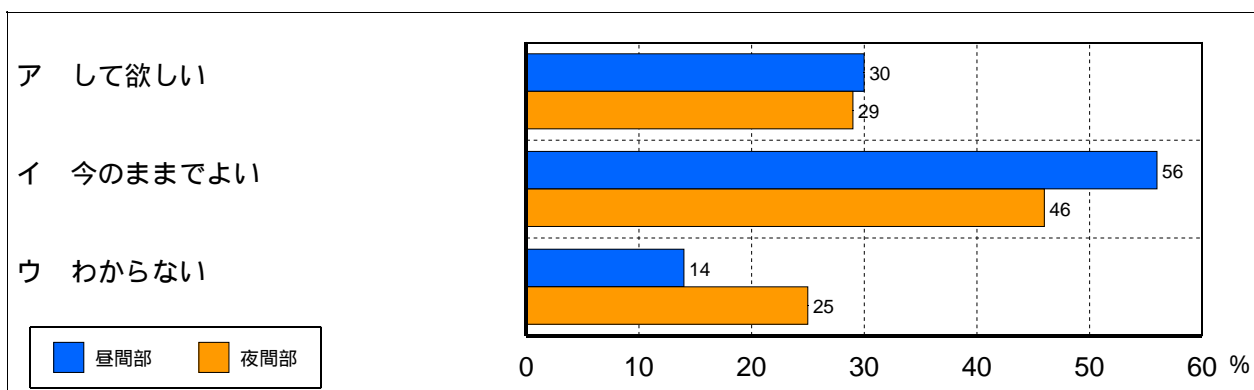


Q9 あなたは次の意見についてどう考えますか。

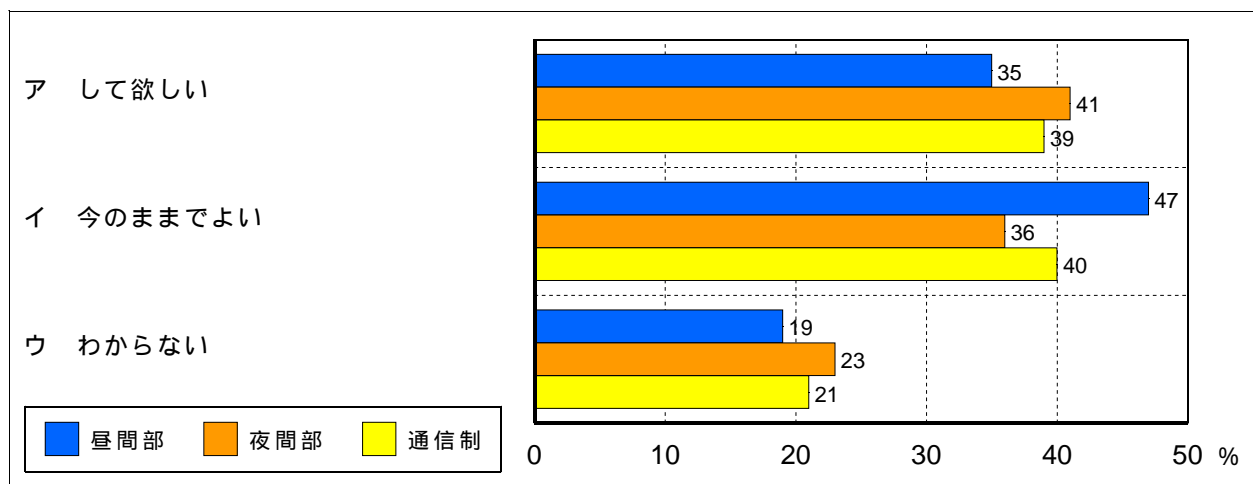
午前や午後あるいは夜間の授業が自由に受けられる。



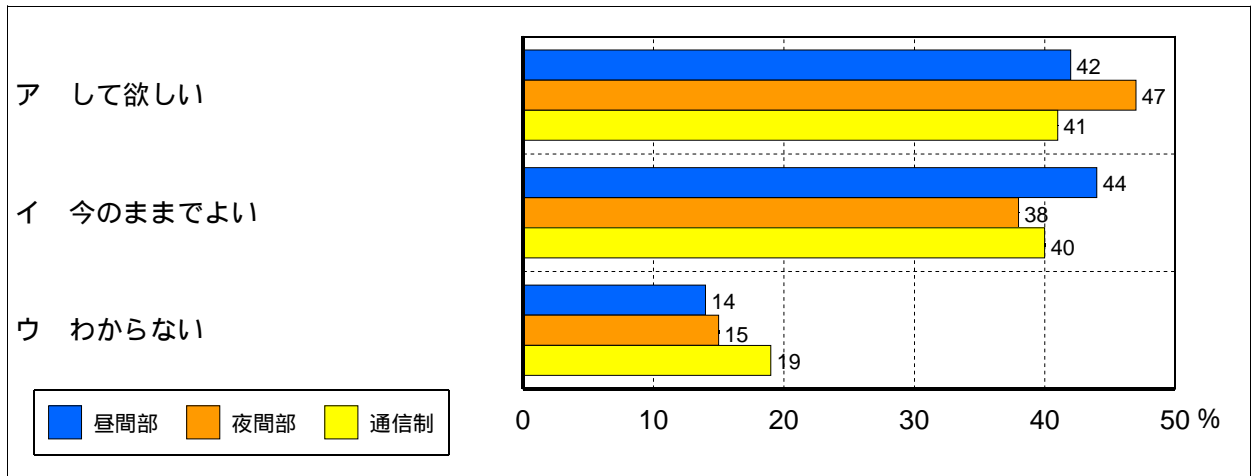
学習の進度に応じた学級で勉強できる。



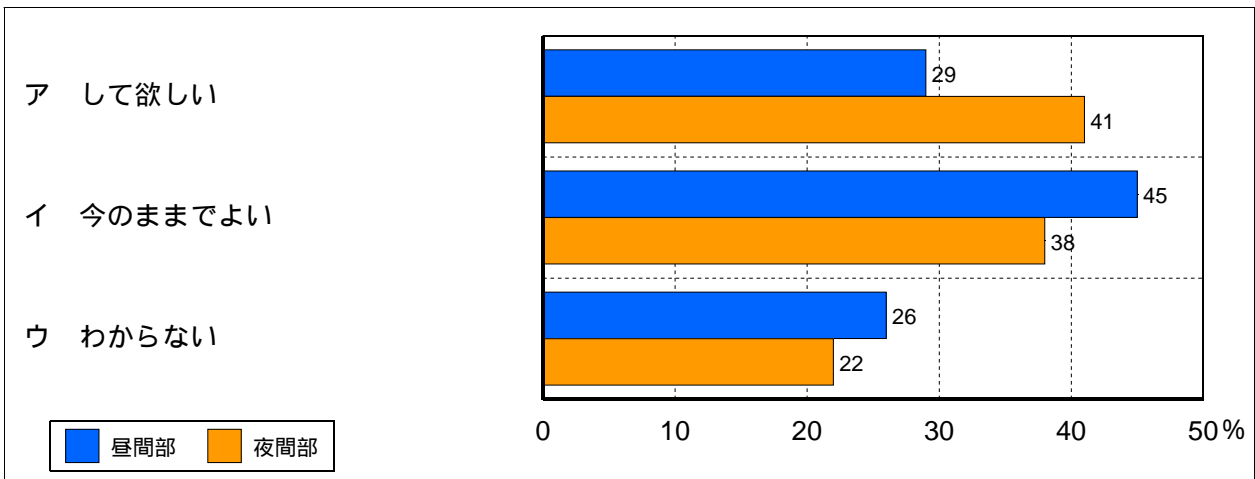
校外での体験的活動が単位として認定される。



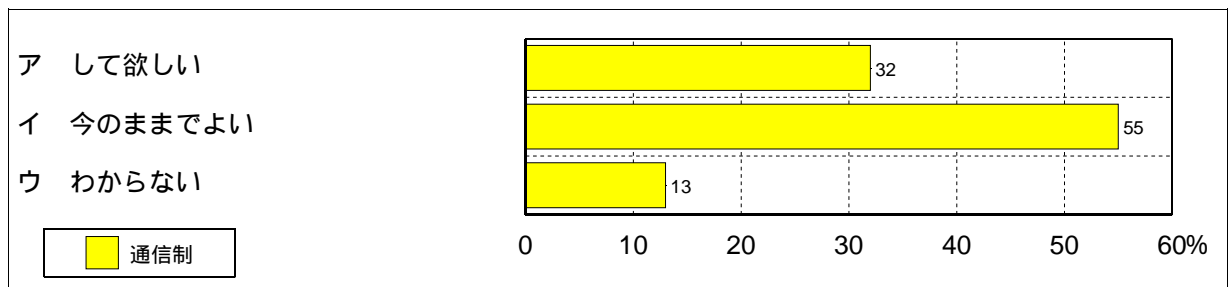
前期あるいは後期だけで単位が取れる。



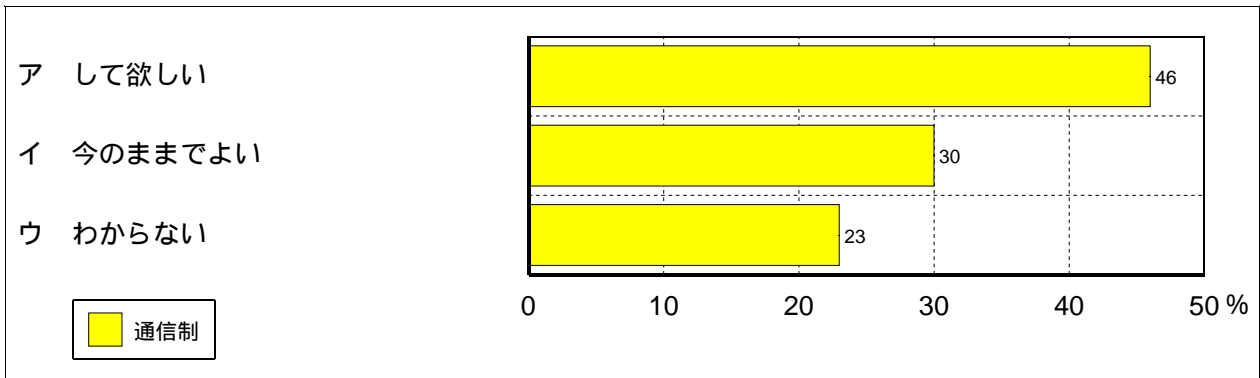
高校を中退した生徒がもっと自由に入学できる。



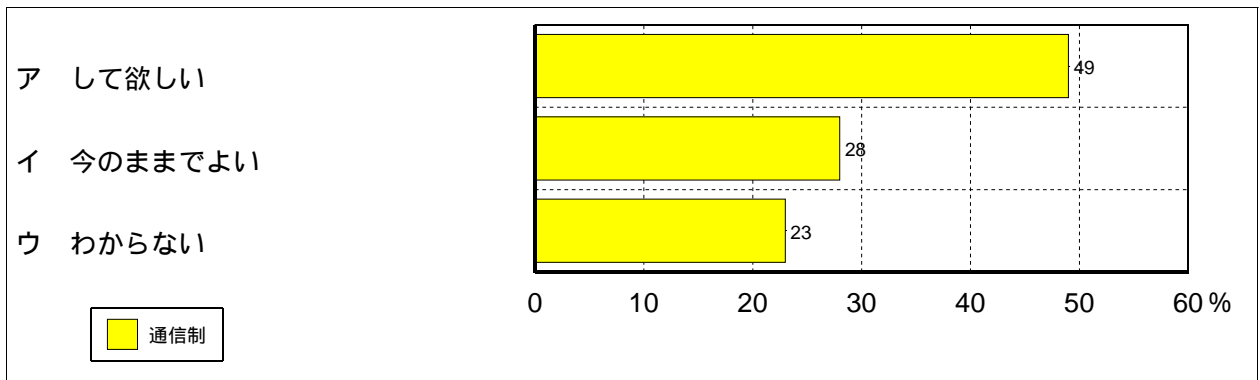
期間を集中したスクーリングが受けられる。



インターネットを活用した授業が受けられる。



不登校傾向の生徒がもっと自由に入学できる。



入学してよかったと思うこと（記述式）

昼間部

- ・友人が多くできたこと
- ・話しやすい先生が多いこと
- ・服装頭髪が自由なこと
- ・部活動が楽しいこと
- ・授業が分かりやすいこと
- ・積極的になったこと
- ・生徒会活動等を通し多くのことが学べること
- ・自分のペースでゆっくりと勉強できること
- ・午後から自分の好きなことができること
- ・働きながら無理なく生活ができること

夜間部

- ・ゆとりある校風であること
- ・服装が自由なこと
- ・部活動が楽しいこと
- ・いい先生が多いこと
- ・自分を見つめ直せたこと
- ・人数が少ないから勉強がしやすいこと
- ・楽しく勉強できること
- ・自分のペースに合わせて勉強できること
- ・技術が習得できること

通信制

- ・部活動がおもしろいこと
- ・友人ができ、生活に張りができたこと
- ・干渉されないこと
- ・自分のペースで勉強出来ること
- ・勉強をする気になったこと
- ・毎日登校しなくて良いこと
- ・以前に退学した学校とは違うこと
- ・年輩の人や同年代の人と親しくして、いろいろ勉強になったこと
- ・先生とのふれあいが楽しいこと
- ・先生方が優しく教えてくれ、授業がよく分かること
- ・中学校の時に途中でわからなくなった部分がよく理解できること
- ・数学、物理の内容が少しわかるようになったこと
- ・もっと勉強して、新しい学校に行きたいと思うこと
- ・字がきれいになったり、本を読むようになったこと
- ・高校進学が年齢が過ぎていても、やり直しが出来たこと
- ・仕事では味わえない学生時代に戻れ、すごく楽しいこと

入学してよくなかったと思うこと（記述式）

昼間部

- ・就職先がないこと
- ・やる気のない人が多いこと
- ・クラス替えがないこと

夜間部

- ・進学に向いていないこと
- ・先生が厳しいこと
- ・始業時間が早いこと

通信制

- ・科目が自由に選べないこと
- ・人数が多すぎる
- ・授業が少ないので、理解しづらいときがあること
- ・高校らしい行事がないこと
- ・行事が少なく思い出が作りにくいこと
- ・50才を過ぎての勉強は難しく理解力に欠けていること
- ・中学時代に不登校を経験していたため、基礎学力が定着していないこと

(資料7) 新しい定通独立校のあり方 [意見概要]

1 全体的な学校のあり方

- ・多様化している生徒の実態やニーズに対応する。
- ・県内に1校だけの定通独立校であるので、できるだけ多くの生徒のニーズに応えられる学校とする。
- ・全日制の補完や生涯学習の観点からだけでなく、いろいろな角度から対応できる学校とする。
- ・門戸はできるだけ広げ、入学後に生徒の多様なニーズに対応できる学校とする。
- ・学ぶ意欲のある生徒が、いつでもどこでも学べるシステムとする。
- ・単位制の柔軟な運用等により、これまでの学校のイメージを変える。
- ・投資効率だけで考えず、全日制課程にない新しいシステムで明るいイメージの学校とする。
- ・全日制課程に行けなかった生徒に希望を持たせる学校とする。
- ・生徒が誇りを持てるように、施設の整備と教育内容の充実を図る。

2 入学を想定する生徒像

- ・自らの生活パターンに合わせて学習形態を選択したい生徒
- ・働きながら学ぼうとする生徒
- ・学ぶ意欲を持つ社会人生徒
- ・中学時代に不登校経験のある生徒
- ・これまでの学校生活に馴染めず、やり直しをしたい生徒
- ・中途退学をしたが、再度挑戦して高校を卒業したい生徒

3 教育の制度，教育課程

- ・現状の継続でなく、生徒を中心に据え何ができるかを考える。
- ・午前，午後等の授業が必要に応じて受けられる。
- ・生徒の興味・関心に応じた科目が選択できる。
- ・大学等の進学に向けた勉強ができる。
- ・全日制課程退学者をどのように受け入れるかという視点で考える。
- ・中途退学した生徒がもっと自由に入学できる。
- ・不登校経験のある生徒が入学でき，勉強ができる。
- ・1日6時間の授業が受けられるなど，全日制課程に近いシステムも可能とする。
- ・やる気を起こさせるための一人ひとりの学びをサポートするシステムづくりを行う。
- ・生徒の多様性を踏まえ授業の個別化も必要である。
- ・何もかも生徒の自主性に任せるには問題があるが 縛りの少ないシステムとする。

4 教育内容，学習内容

- ・進路に対する目的意識，職業意識を育てる。
- ・体験的な学習を多く取り入れる。
- ・企業関係者，大学教官等の講義を取り入れる。
- ・学校教育活動等に地域の教育力を生かす。
- ・インターネット等を活用した授業を取り入れる。
- ・通信制教育用コンテンツの共同開発など，総合教育センター等との連携を図る。

5 生涯学習機能

- ・これからの社会を見据え，生涯学習機能を兼ねる必要がある。
- ・大人の学習意欲に触れさせ，やる気を育てるため一緒に受講させる。
- ・市内中心部に近い地理的な条件を生かし，生涯学習講座を開設する。

6 施設・設備の整備

- ・心が安らぐ広い空間スペースが必要である。
- ・生徒の学ぶ意欲をかき立てる施設を整備する。
- ・多様な才能や得意分野が生かせる施設・設備を充実させる。
- ・部活動の活動場所や時間を確保する。
- ・生徒一人に教員一人の授業形態も考えられ，生徒の実態やニーズに応じた施設を整備する。
- ・個別学習ゾーン，集団学習ゾーンの考え方を校舎設計に取り入れる。

7 夜間工業科のあり方

- ・工業科に対する生徒のニーズはあり，別途設置する必要がある。
- ・今後の科学技術の進展に対応していくためには，施設・設備の充実が望まれる。

8 その他

- ・制度などの整備には教員増での対応だけでなく，教職員の勤務形態を含めた改革が必要である。
- ・教職員の勤務形態の改善や効率化を図る必要がある。

(資料8) 定時制教育課程表(例)

1 年次	国語 総合	地理 A	数 学	英 語	理科 総合 A	芸術	体育	総合	H R	特設科目
単 位 数	2	2	4	4	2	2	2	1	1	0 ~ 8

2 年次	国語 総合	世界 史A	体育	保健	家庭 基礎	情報 A	選 択 科 目	総合	H R	特設科目
単 位 数	2	2	2	2	2	2	6	1	1	0 ~ 8

3 年次	体育	選 択 科 目						総合	H R	特設科目
単 位 数	2	1 6						1	1	0 ~ 8

4 年次	現代 社会	体育	選 択 科 目					総合	H R
単 位 数	2	2	1 4					1	1

【選択科目】										
現代文，国語表現 ，数学A，数学 ，化学 ，生物 ，物理 ，英語 ，オーラル ，日本史B，国語演習，教養漢字，暮らしの法律，数学演習，化学 ，生物 ，地球環境，フードデザイン，絵画・デッサン，実用書道，音楽，グリーンライフ，生物活用 化学 ，生物 ，物理 から1科目は選択すること										

【特設科目】										
(午前)										
古典講読，国語演習，国語基礎，現代社会，政治経済，数学基礎，数学演習，理科総合B，地学 ，化学 ，物理 ，体育，英語基礎，英語演習，フードデザイン，生物活用，文書デザイン，ビジネス基礎，工芸など										

(午後)										
古典講読，国語演習，国語基礎，現代社会，政治経済，数学基礎，数学演習，理科総合B，地学 ，化学 ，体育，英語基礎，ビジネス英語，文書デザイン，パソコン中級，ビジネス基礎，工芸，(生涯学習講座)など 3 修生は，現代社会，体育を選択すること。										

(資料9) 計画的な取り組み

1 定時制課程の取り組み

- (1) 多様なニーズへの対応
 - ・ 学校外における学修等の単位認定
ボランティア活動などの認定
 - ・ 転編入学生の後期受入
後期単位分割認定，無学年制時間割編成
 - ・ 多様な選択科目の設置
進学対応科目，興味・適性に対応した学校設定科目
- (2) 基礎・基本の重視
 - ・ 基礎学力の定着
一部教科の少人数授業など
 - ・ 基礎・基本科目の充実
国語，英語，数学における学校設定科目
- (3) 体験的な学習の重視
 - ・ 望ましい職業観の育成
就業体験の実施，キャリアガイダンス機能の充実
 - ・ 規範意識の醸成
マナー向上のための学校設定科目，ボランティア活動の実施
- (4) 豊かな人間性の育成
 - ・ 相談機能の充実
カウンセリング機能，ガイダンス機能
 - ・ 学校行事，部活動及び生徒会活動の活性化
学校行事，部活動，生徒会活動の合同実施
- (5) 地域に根ざした活動
 - ・ 開かれた学校づくり
生涯学習講座の開設
 - ・ 学校への理解推進
ホームページの充実

2 通信制課程の取り組み

(1) 多様なニーズへの対応

- ・スクーリングの多様化
スクーリング弾力化，不登校傾向の生徒支援の充実，
インターネットを活用した学習（スクーリングの一部免除）
- ・レポート指導の多様化
パソコンでのレポート提出・添削
- ・学校外における学修等の単位認定
技能審査の成果，ボランティア活動，通定併修などによる認定
- ・転編入学生の後期受入
後期単位分割認定，無学年制時間割編成
- ・多様な選択科目の設置
生徒の実態に応じた学校設定科目

(2) 基礎・基本の重視

- ・基礎学力の定着
学習支援講座の充実
- ・基礎・基本の充実
個に応じたレポート指導，e - ラーニングの導入

(3) 体験的な学習の重視

- ・望ましい職業観の育成
キャリアガイダンス機能の充実
- ・規範意識の醸成
マナー向上のための学校設定科目

(4) 豊かな人間性の育成

- ・ホームルーム活動の充実
スクーリング時のホームルーム実施
- ・相談機能の充実
カウンセリング機能，ガイダンス機能
- ・学校行事，部活動及び生徒会活動の活性化
学校行事，部活動，生徒会活動の合同実施

(5) 地域に根ざした活動

- ・開かれた学校づくり
生涯学習講座の開設
- ・学校への理解推進
ホームページの充実

(資料10) 夜間定時制高校の郡市別通学状況

徳島中央高校(夜間)

地域	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	名東郡	勝浦郡	那賀郡	板野郡	名西郡	麻植郡	阿波郡	美馬郡	三好郡	計
生徒数	107	7	13	1	1	3	1	34	1	3	2	1		174
割合	61.5%	4.0%	7.5%	0.6%	0.6%	1.7%	0.6%	19.5%	0.6%	1.7%	1.1%	0.6%		100.0%

富岡東高校

地域	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	名東郡	勝浦郡	那賀郡	板野郡	名西郡	麻植郡	阿波郡	美馬郡	三好郡	計
生徒数			3	32		1	11	1						48
割合			6.3%	66.6%		2.1%	22.9%	2.1%						100.0%

鳴門高校

地域	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	名東郡	勝浦郡	那賀郡	板野郡	名西郡	麻植郡	阿波郡	美馬郡	三好郡	計
生徒数	4	59						8						71
割合	5.6%	83.1%						11.3%						100.0%

名西高校

地域	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	名東郡	勝浦郡	那賀郡	板野郡	名西郡	麻植郡	阿波郡	美馬郡	三好郡	計
生徒数	7	1	1					18	18	10	2			57
割合	12.2%	1.8%	1.8%					31.6%	31.6%	17.5%	3.5%			100.0%

池田高校

地域	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	名東郡	勝浦郡	那賀郡	板野郡	名西郡	麻植郡	阿波郡	美馬郡	三好郡	計
生徒数												4	30	34
割合												11.8%	88.2%	100.0%

(平成16年学校要覧及び6月調査)

昼夜間定通独立校整備検討委員会設置要綱

(名称)

第1条 この委員会は、昼夜間定通独立校整備検討委員会(以下「検討委員会」という。)と称する。

(目的)

第2条 検討委員会は、徳島県高校教育改革推進計画に基づき、今後ますます多様化が進む生徒のニーズに対応するため、徳島中央高等学校を抜本的に見直し、履修形態の一層の弾力化や生涯学習機能の強化を図り、だれでもいつでもどこでも学べる定通独立校のあり方について検討することを目的とする。

(検討事項)

第3条 検討委員会は、次に掲げる事項について検討し、教育委員会に報告する。
教育方針に関すること。
教育課程、教育の制度・内容・方法に関すること。
その他検討を要すること。

(構成)

第4条 検討委員会は、委員10名以内で構成する。
2 検討委員会は、学識経験者、産業界関係者、高校PTA関係者、定通教育振興会関係者、公立中学校関係者、県立高等学校関係者、徳島県教育委員会関係者のうちから、教育長が任命または委嘱するものをもって構成する。
3 委員の任期は1年とし、再任することができる。
4 委員会には委員長と副委員長を置く。
5 委員長は委員の互選により選任し、副委員長は委員長が指名する。

(会議)

第5条 検討委員会の会議は、委員長が招集し運営する。
2 委員長は、必要に応じ会議に関係者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(部会)

第6条 検討委員会に、専門的事項を具体的に検討するため、専門部会を置くことができる。

(庶務)

第7条 検討委員会の庶務は、教育委員会教育改革推進チームにおいて処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し、必要な事項は、委員長が定める。

附 則 この要綱は、平成15年7月15日から施行する。

昼夜間定通独立校整備検討委員会名簿

(順不同・敬称略)

氏 名		役 職 名 等	年度
齋藤 昇	学識経験者	鳴門教育大学教授	H15～H16
廣渡 修一	学識経験者	徳島大学開放実践センター長	H15～H16
南 尚志	産業界関係者	株式会社エイコー社長	H15～H16
大石 雅生	P T A 関係者	徳島県高校 P T A 連合会長	H15～H16
井上 宏美	P T A 関係者	徳島県立徳島中央高校 P T A 会長	H15
大黒 倫代	P T A 関係者	徳島県立徳島中央高校 P T A 会長	H16
庄野 宏文	中学校関係者	鳴門市鳴門第一中学校長	H15
住友雄一郎	中学校関係者	徳島市城西中学校長	H16
植田 和則	中学校関係者	徳島市徳島中学校長	H15～H16
新井 清	高校関係者	徳島県立徳島中央高等学校長	H15～H16
佐々木清克	高校関係者	徳島県立池田高等学校長	H15～H16
井上 正信	教育委員会	徳島県教育委員会教育次長	H15
石川 好文	教育委員会	徳島県教育委員会教育次長	H16

委員長

昼夜間定通独立校整備検討委員会の審議経過等

回	時 期	検 討 内 容 等
1	H15/7/25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定時制・通信制高校の現状と課題について ・ 徳島中央高校の現状と課題について
2	H15/10/6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の定時制・通信制高校の状況について ・ 新しい定通独立校のあり方について
3	H16/1/19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいタイプの定通独立校について 基本的な考え方 学校像，生徒像，教育理念 等
4	H16/5/24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回までの経過説明 ・ 新しいタイプの定通独立校について（1） 教育課程 履修形態 等
5	H16/8/2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいタイプの定通独立校について（2） 学校規模 教育環境の整備 等 ・ 報告書について
6	H16/12/13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間定時制高校の整備について ・ 報告書について
7	H17/3/22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書のまとめ

用語解説

- * 1 大学入学資格検定
大学入学資格検定は、高等学校を卒業していないなどのため、大学を受験できない人に対し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかどうかを認定する検定試験である。
- * 2 技能審査の成果による単位認定
高等学校において設けられている教科・科目の学習内容に対応する資格（例えば、実用英語能力検定などの文部大臣の認定した技能審査、簿記検定などの技能審査など）を取得した場合、それを自校の科目の履修とみなし、単位として認めるものである。
- * 3 転編入学
転入学とは、高校の生徒が他の高校に転校し、当該校の相当学年に移ることである。編入学とは海外から帰国・移住した者、盲・聾・養護学校の高等部や高等専門学校等に在学する者、高校を中退した者などが、高校の第1学年当初以外の時期に中途入学することである。
- * 4 スクーリング（面接指導）
通信制課程で行う教育は、スクーリング（面接指導）、レポート（添削指導）、試験により行うこととなっている。スクーリングは、各教科・科目毎に面接指導の時間数が決められており、年間指導計画に基づき、自宅学習に必要な基礎的・基本的な学習知識などについて指導を行う。
- * 5 就業体験活動に係わる学修
学校外の活動として、企業、工場や農家等において就業体験活動（インターンシップ）を行った場合、それを自校の科目の履修とみなし、単位の修得を認めるものである。
- * 6 学校設定科目
地域、学校及び生徒の実態、学科の特色に応じ、特色ある教育課程の編成に資するように学校独自で設定する科目で、その名称、目標、内容、単位数等については、その科目の属する教科に基づき、各学校で定める。
- * 7 キャリアガイダンス
生徒の個人資料、進路情報、啓発的経験、及び相談を通じて、生徒自ら将来の進路を選択・計画し、就業または進学して、さらにその後の生活によりよく適応し、進歩する能力を伸長するように、教師が組織的、継続的に指導・援助する過程である。
- * 8 ボランティア活動に係わる学修
学校外の活動として、社会福祉施設等においてボランティア活動を行った場合、それを自校の科目の履修とみなし、単位の修得を認めるものである。
- * 9 学習支援講座
徳島中央高校通信制独自に行っている講座である。スクーリングにカウントされないが、疑問点の解決や学力向上につながるための個別指導を行っている。
- *10 e - ラーニング
IT活用による効率的で効果的な授業やネット上に仮想の学校を実現するなど、教育へのIT利用を推進することである。
- *11 ユニバーサルデザイン
はじめから、すべての人の多様なニーズを考え、すべての人が安全・安心で利用しやすいように計画・設計することである。